

2025 株式会社セカンドセクション 会社案内



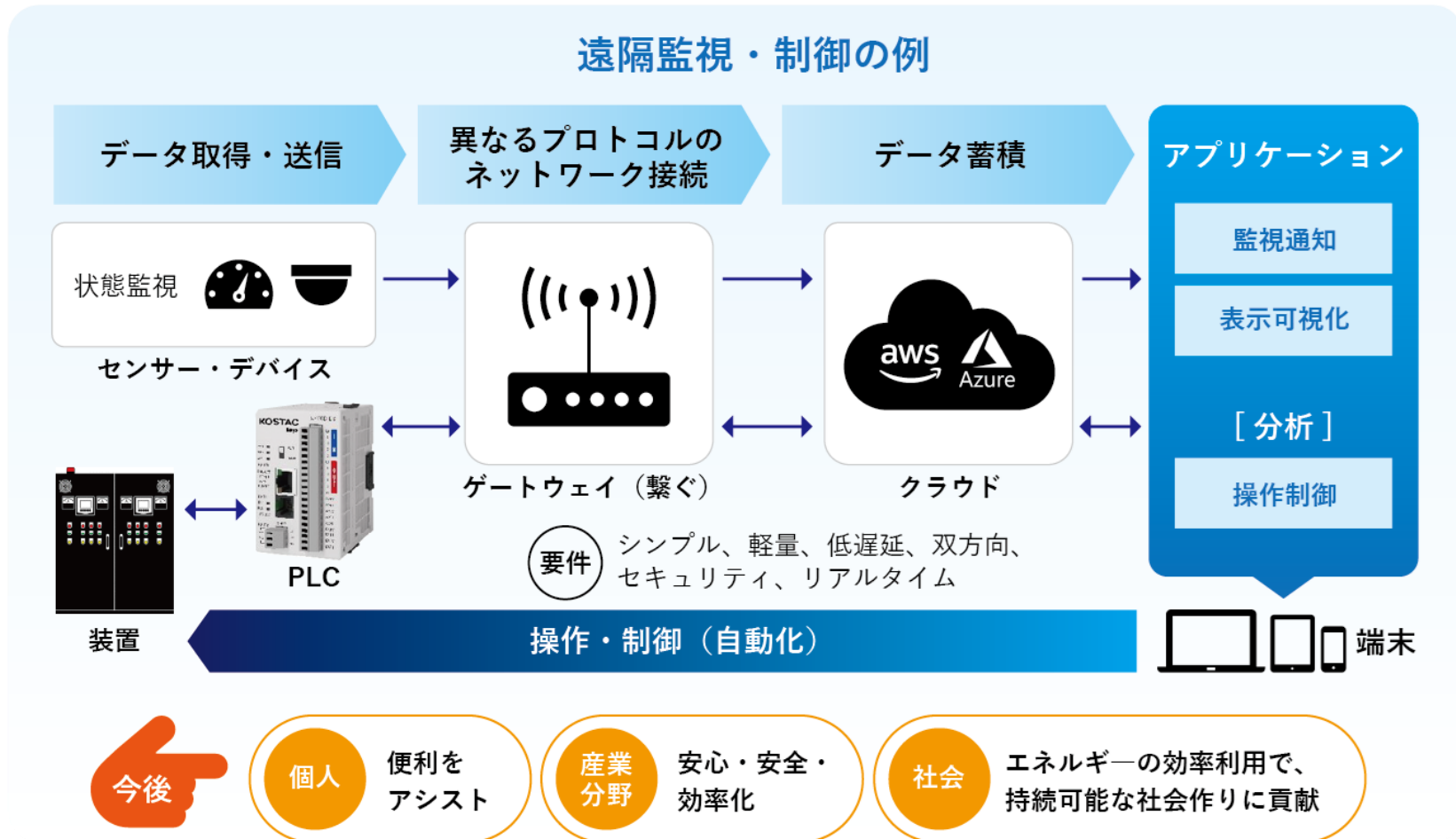
株式会社セカンドセクション

会社概要

設立	2007年6月21日（第18期目）
代表者	代表取締役 丸岡 慶士（Keiji Maruoka）
事業内容	システム開発（IoT通信、組込み開発、Webアプリケーション開発、AI）、システム保守・運用、コンサルティング事業
資本金	2,000万円
従業員数 2025/7/1 現在	22名
事業所	大阪市北区豊崎3-20-12 パールグレイビル 8F
グループ会社	株式会社CASMホールディングス、株式会社クリーブウェア、株式会社クリーブウェア・マーケティング、株式会社メディアバーン
取引実績 （順不同）	オムロン株式会社、帝人株式会社、株式会社NTT スマイルエナジー、株式会社かんでんエンジニアリング、第一実業ビスウィル株式会社、東レエンジニアリング株式会社、株式会社クボタ、TOPPAN株式会社、理化学研究所(SPring-8)、コニカミノルタ株式会社、パナソニック株式会社、ダイキン工業株式会社、スミセイ情報システム株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ

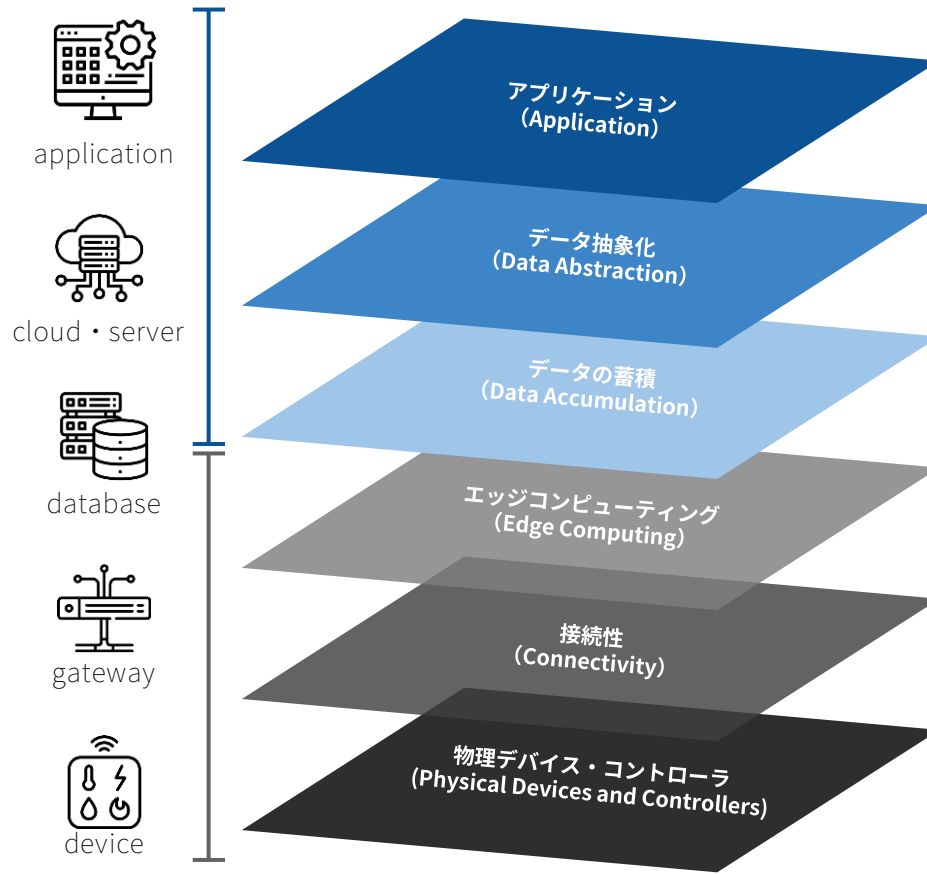
特徴

IoTシステム開発（エッジ・クラウド）に強み

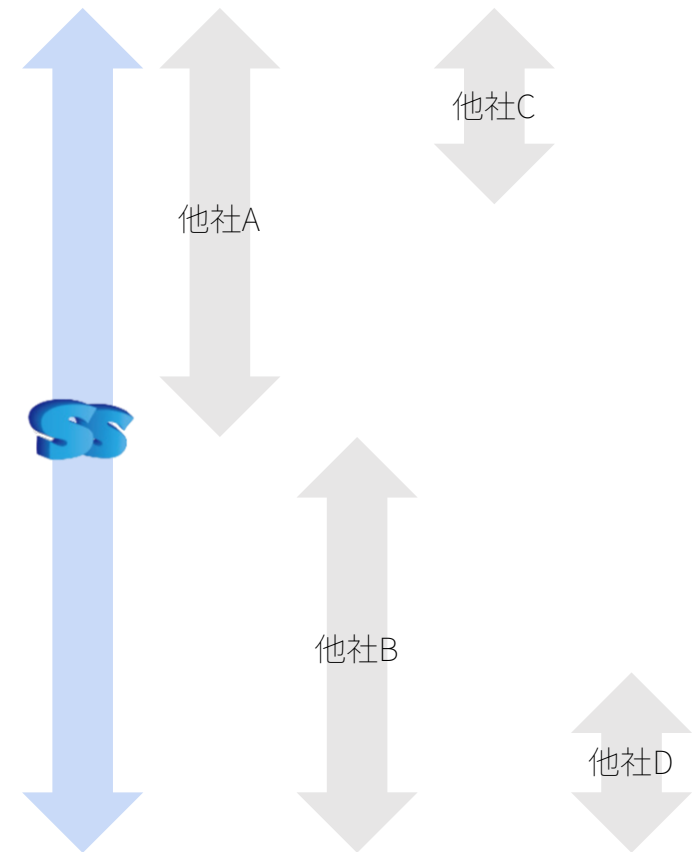


IoTシステム開発の担当領域と優位性

IoTシステム開発各階層



IoT領域同業他社様との違い



グループ会社のご紹介

情報技術で豊かな未来を創造する



開発実績

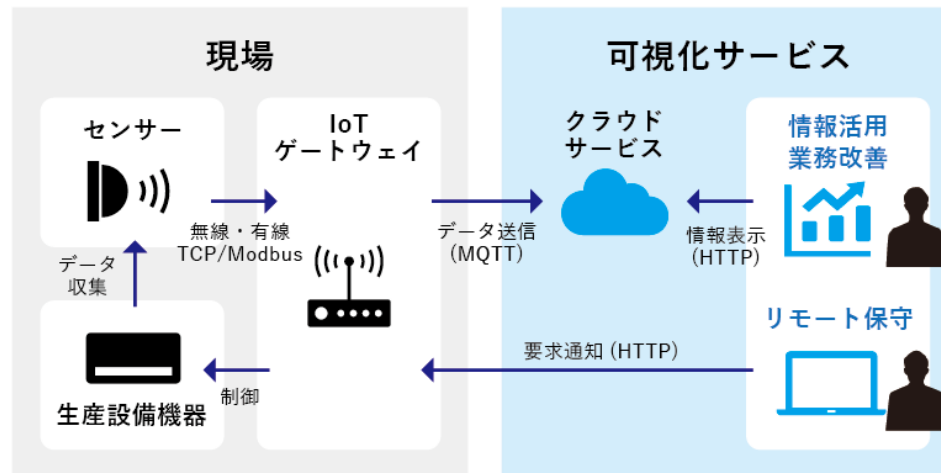
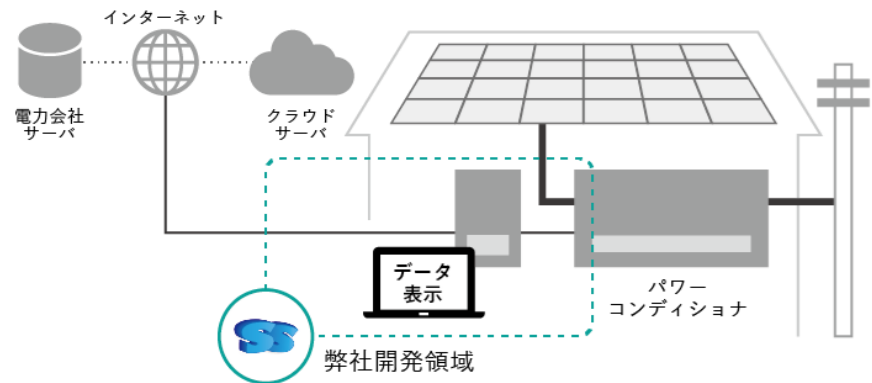


株式会社セカンドセクション

太陽光発電・出力制御ゲートウェイシステム

パワーコンディショナのゲートウェイ装置・表示装置の制御アプリケーションを開発

独自プロトコルでのパワーコンディショナ通信、HTTPSによるクラウド通信、WEB画面によるデータ表示・設定など、ゲートウェイ装置に必要な全機能の制御アプリケーションを開発。派生機種、機能追加などの開発案件を長期間継続して担当しました。



機能強化 (ECHONET Lite)

- ⇒遠隔ソフトウェア更新
- ⇒自家消費制御機器リプレイス
- ⇒ZEH優先対応

マルチ蓄電への各種設定変更

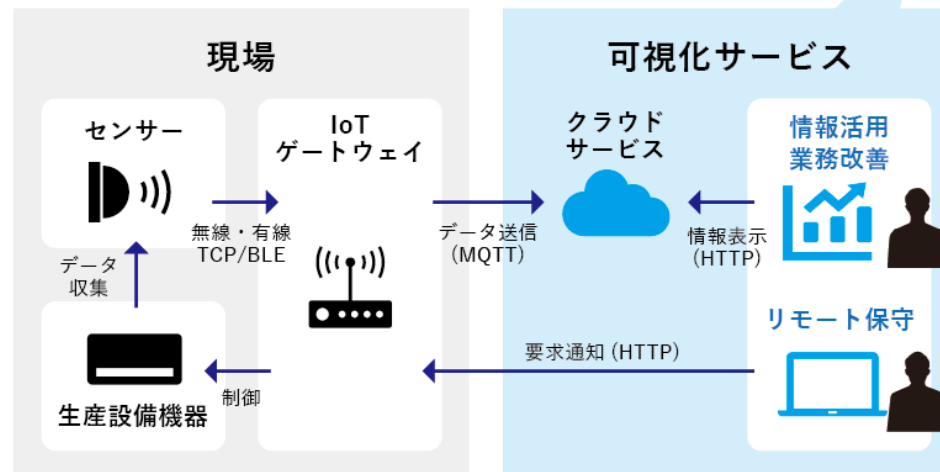
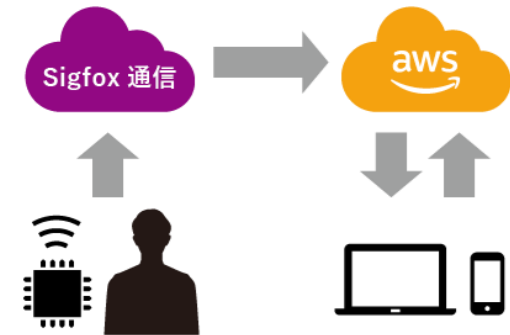
- ⇒産業システム設定
- ⇒ユニット単位設定
- ⇒並列時の許容設定

IoTソリューション

Sigfox通信とAWSによる製品のIoT化

準備・開発コストの削減

既存の製品にセンサーを取り付けることで
環境データとユーザーデータの収集を可能にしました。
製品化に向けた実証実験において、Sigfox規格を採用することで
ゲートウェイや通信手段の準備コストの削減、
AWSサービスを活用することで開発コスト削減を実現しました。



BEMSゲートウェイ

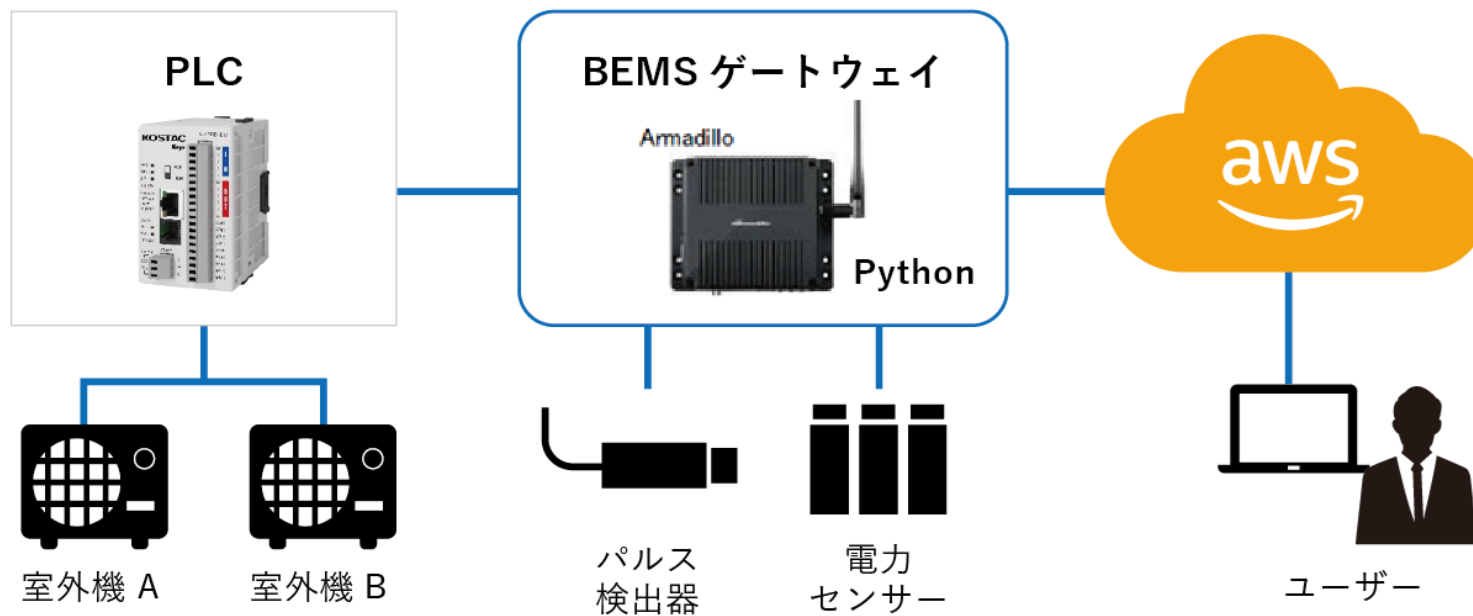
ゲートウェイ経由でPLC・装置を制御（自動化）

センサー・デバイスでデータ取得⇒クラウドに蓄積⇒通知、見える化

商業施設や病院、ビルの空調設備の省エネに関する情報を収集する

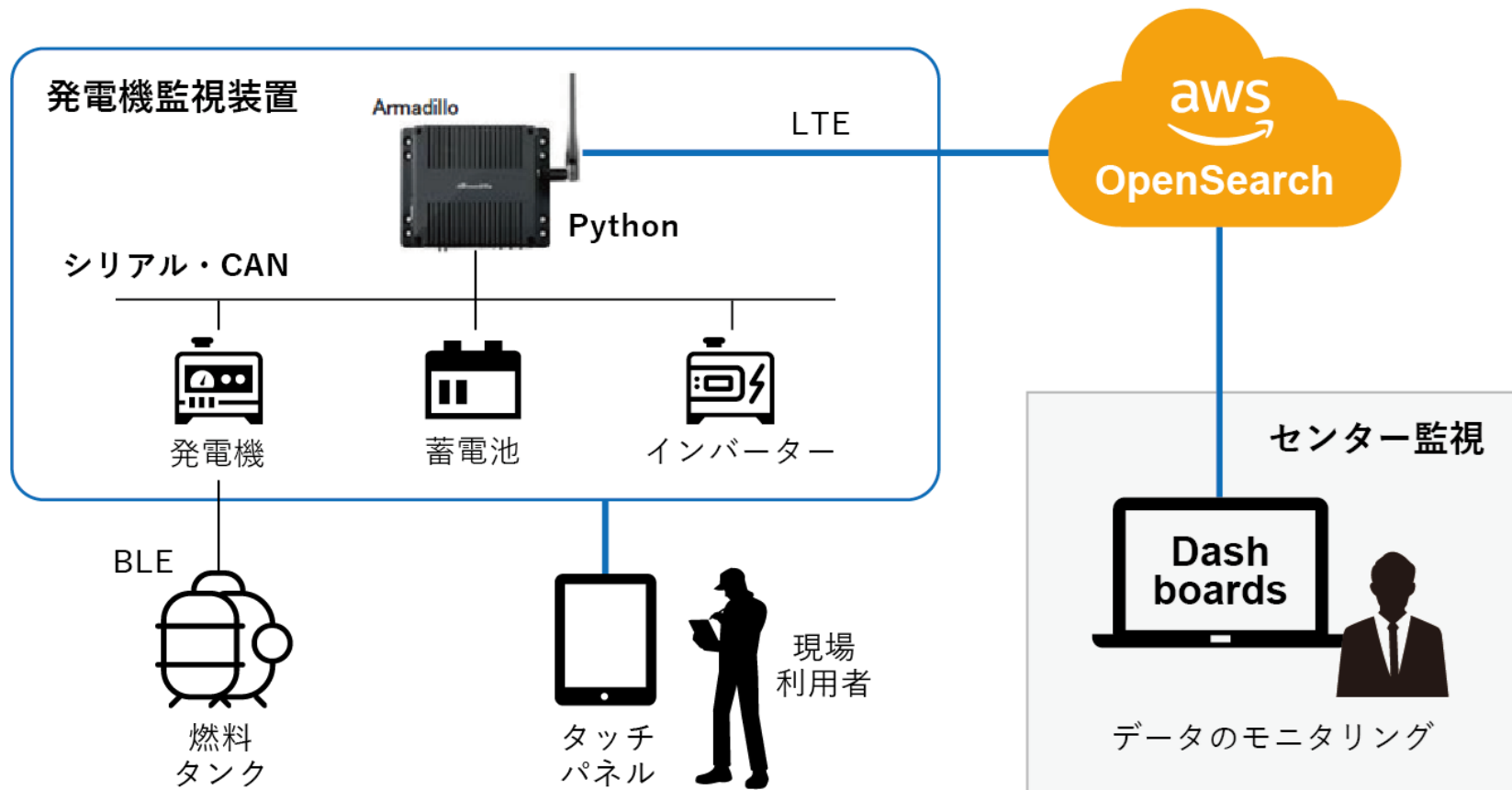
ゲートウェイシステムを開発しました。

遠隔空調（出力）制御により、エネルギーの効率利用に貢献いたします。



エネルギーの見える化

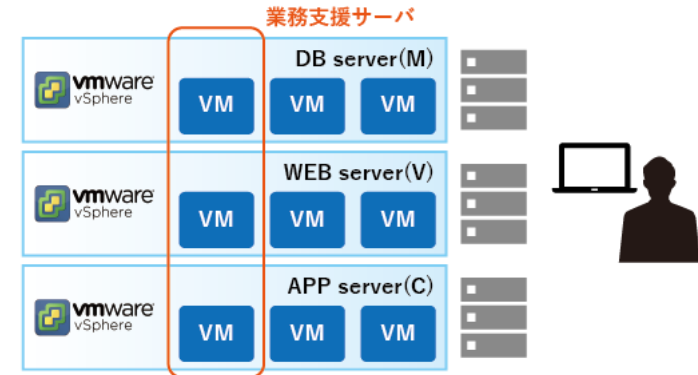
作業現場で利用するバッテリー装置情報を収集する
ゲートウェイシステムの開発



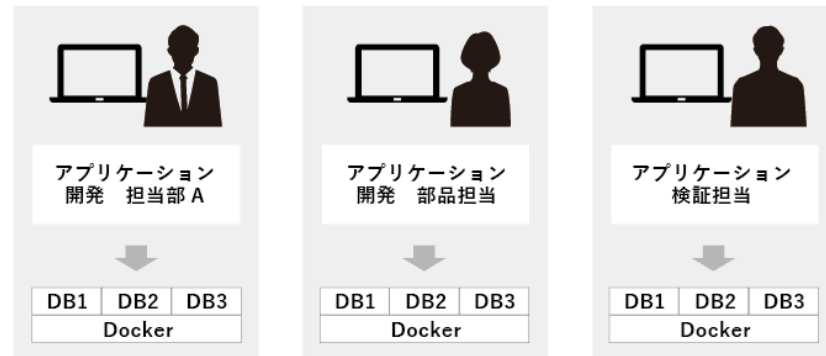
電力会社向けシステムリプレイス

電力会社向けデータ収集ユーザ業務、支援サーバの再構築

既存システム構成からの拡張性やメンテナンス性を考慮した変更提案、vSphereによるサーバ構成仮想化と標準化、既存ソフトウェア構成からの機能分割によるソフトウェア構成再設計を実施。また、PostgreSQLを使用したデータ冗長化やOracleとのDB連携、更にUIとしてExcelVBAから、PHPによるWebGUIを実現しました。



Docker による試験環境 (環境構築コスト：減)



Web アプリケーション (PHP)



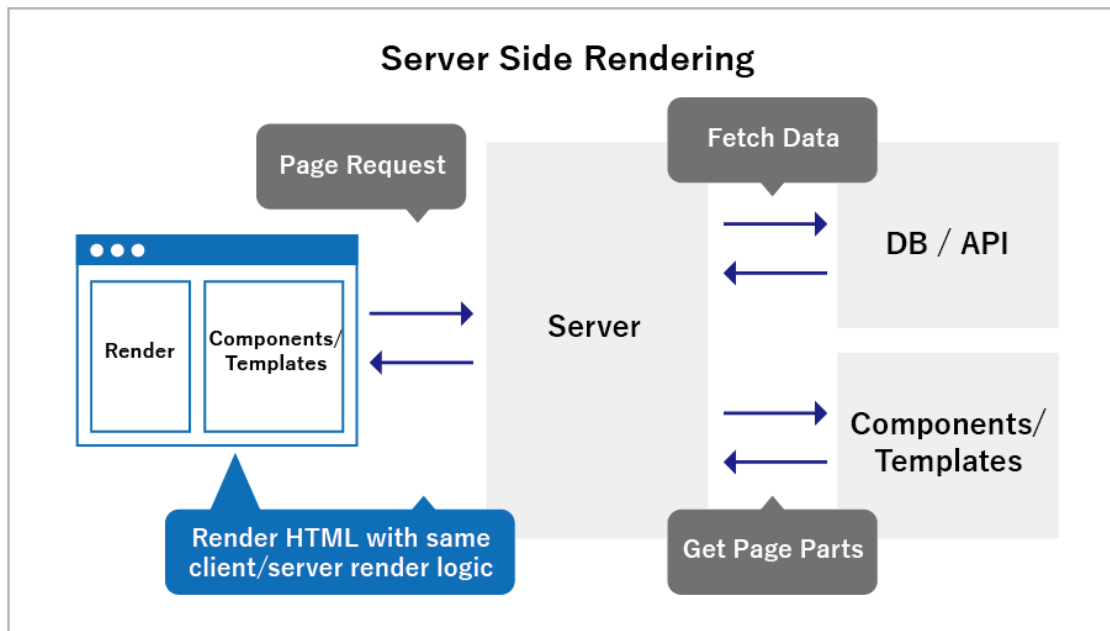
Webアプリケーション

Nuxt.jsによるSPA・SSRの開発

ユーザの操作性向上のため、ページの部分を高速に繊維させる技術としてSPAを取り入れたことでユーザの待ち時間が少なく、サクサク操作できる

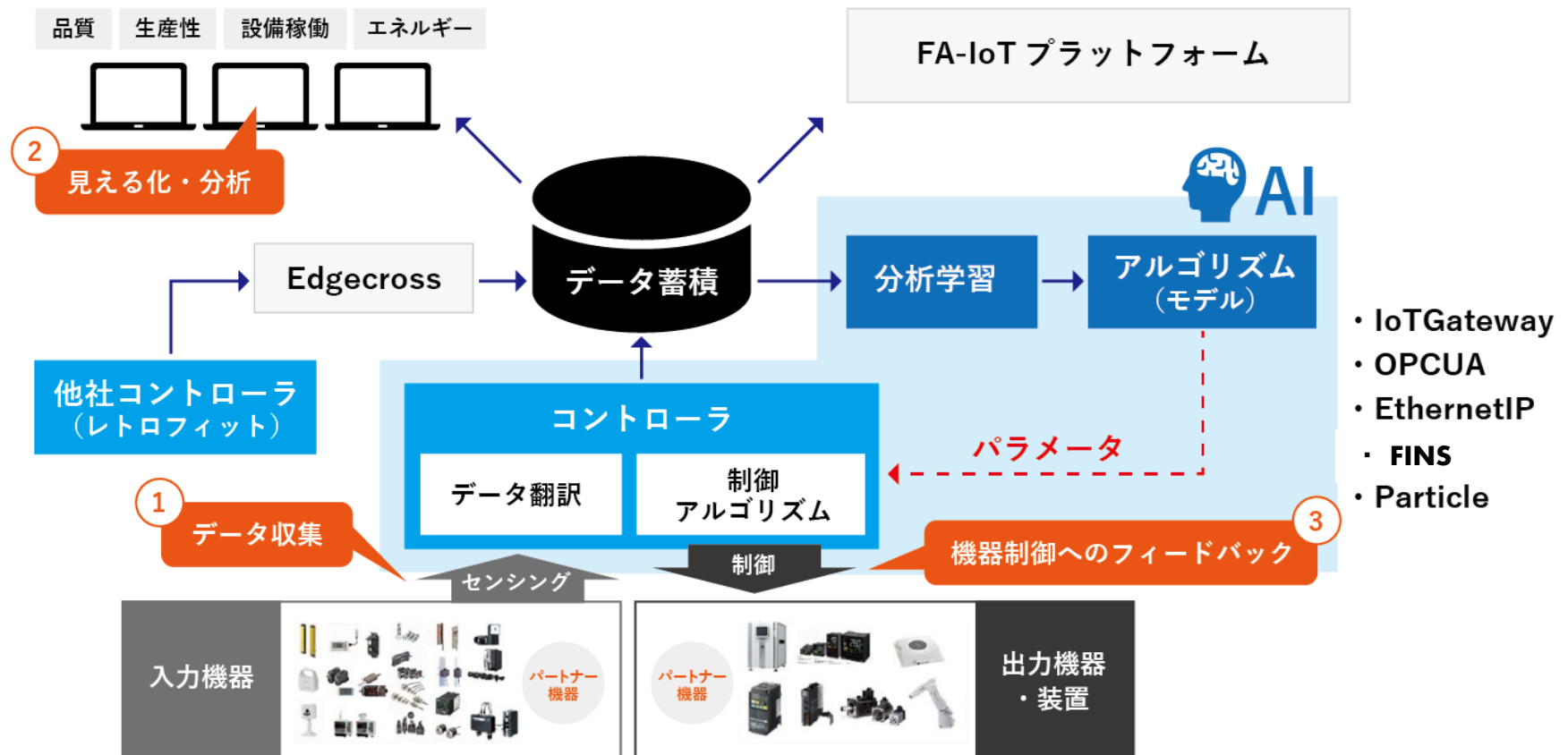
SSRをVue.jsベースで手軽に実装できる

Nuxt.jsを使った開発を行います。



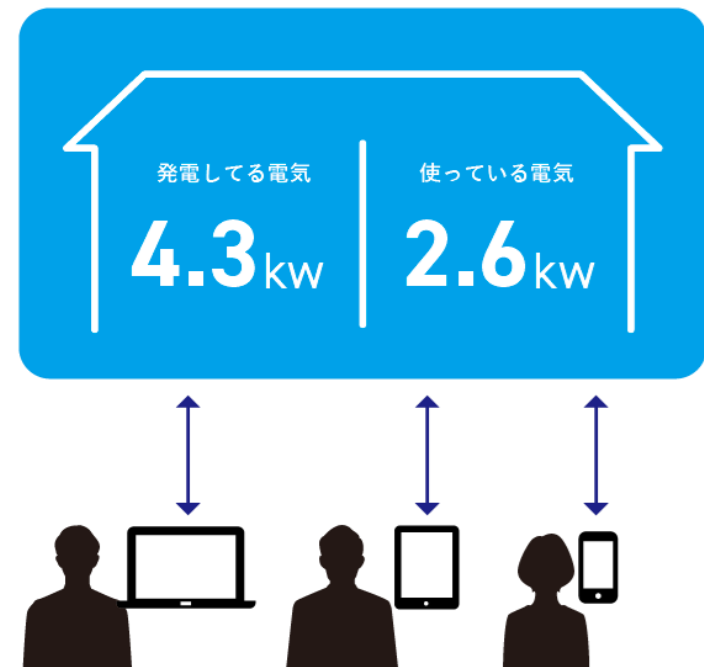
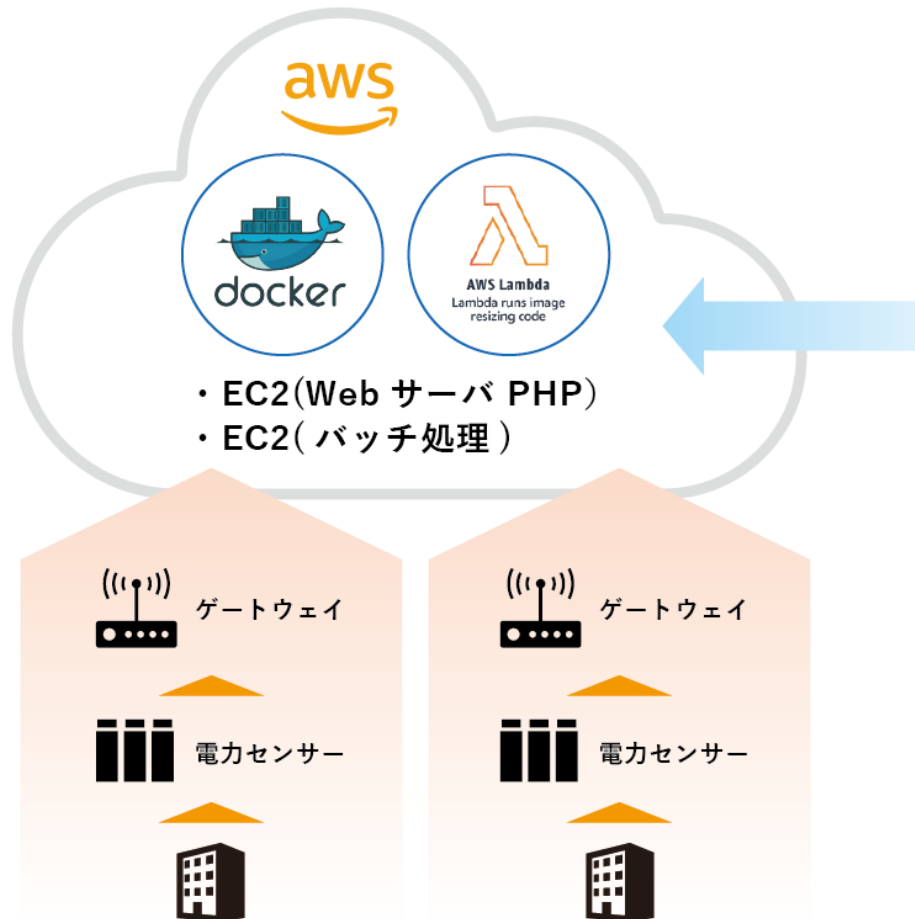
データ活用基盤開発

PLCや外部機器の情報を収集する データ収集システムの構築



遠隔エネルギー監視

エネルギーの効率的な利用に貢献



発生前に問題を予測するためのAI活用

Anomaly Detector

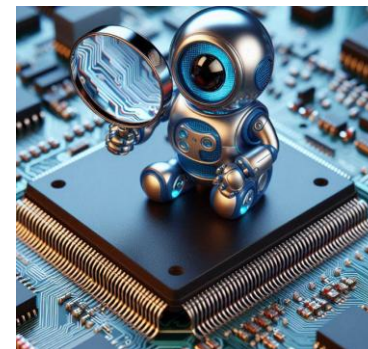
早期に問題を検出してビジネスの信頼性を向上



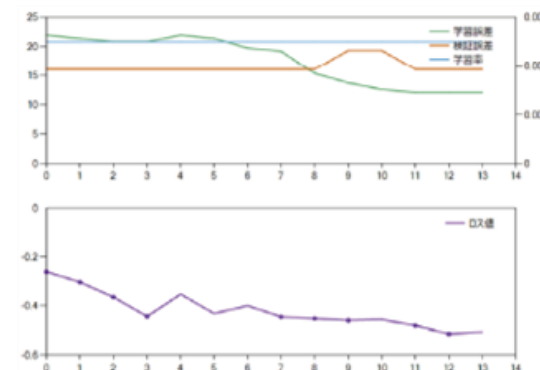
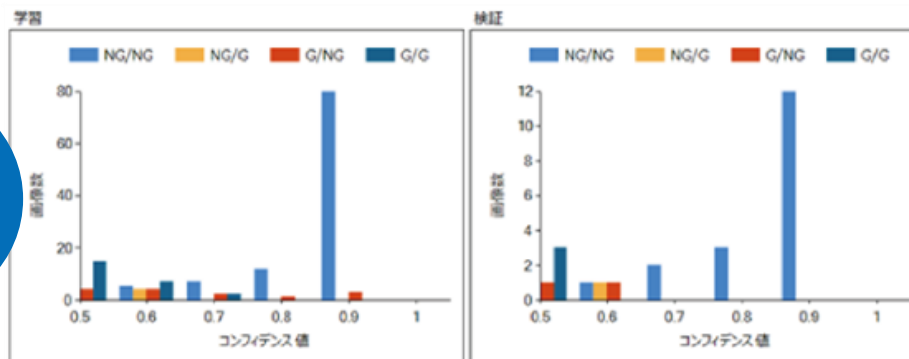
AI検査

AIを使用し、評価・識別

撮像された電子チップの良品、不良品画像を用いて、
AIを使用し評価・識別、良品・不良品の識別精度を向上させる



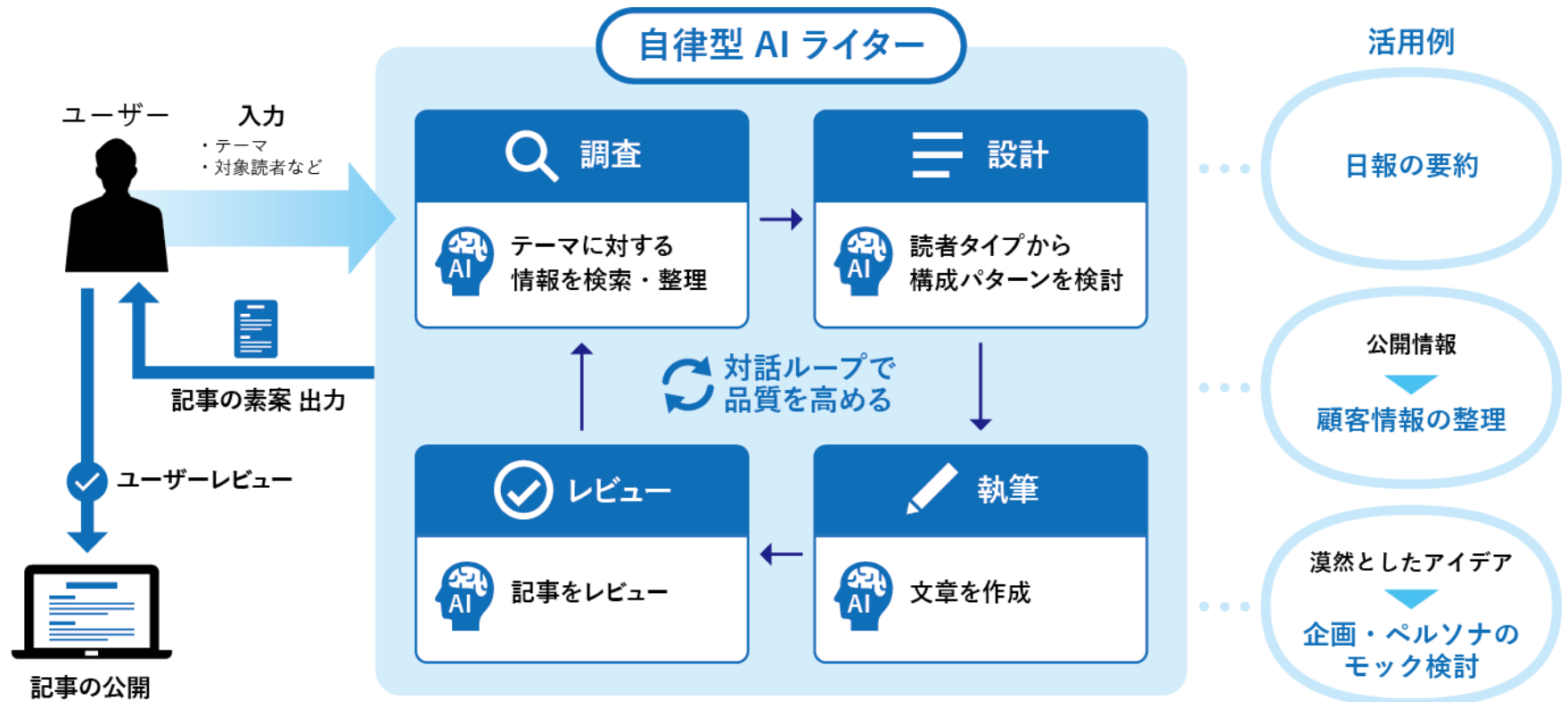
AIによる
評価・識別



マルチAIエージェントの活用

自律型AIライター構築による記事作成の自動化

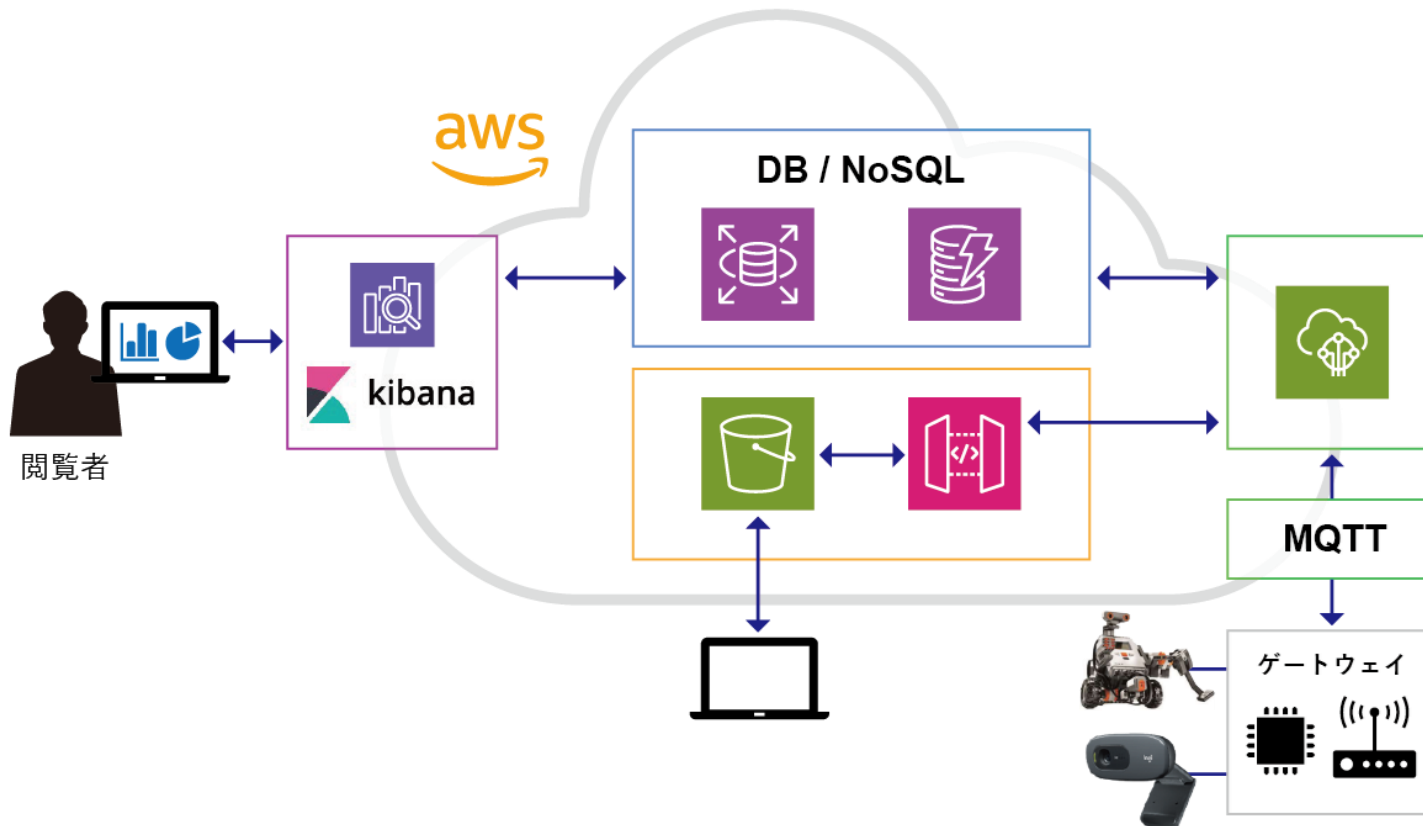
複数のAI エージェントが役割を分担し連携（マルチエージェント方式）
大まかな入力情報から自動で記事を生成する



IoTソリューション（AWS活用）

データを収集・蓄積し、見える化

センサやPLCなどのデータをゲートウェイで集めて、クラウドやオンプレに蓄積し見える化する

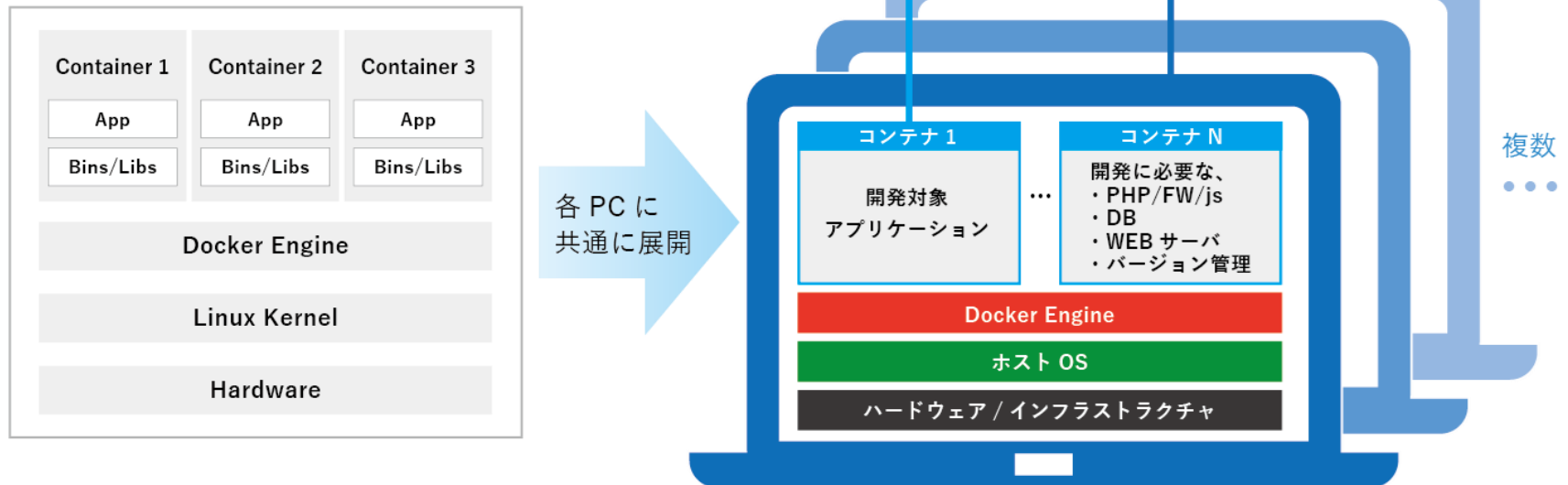


開発環境へのDockerの利用

開発環境の整備

クラウドを利用したアプリケーション開発において、
複数の開発者が利用できる共通の環境を提供する

- ・ PC/OS などの差異を吸収できる。
- ・ 利用しているツールのバージョンアップなどが容易に可能となる。



 kibana

The screenshot shows the Kibana interface. On the left is a sidebar with navigation icons and a list of saved visualizations. The main area displays a 'New visualization' titled 'Average of bytes' for the 'kibana_sample_data_logs' index pattern. The chart is a grouped bar chart showing 'Average of bytes' over time, with a legend indicating three series: 'type' (green), 'size' (blue), and 'ip' (red). A tooltip for the date '2018-10-27 00:04' shows an 'Average of bytes' of 4,267,500. Below the chart, there are 'Suggestions' for other visualizations, including one with the value '5,752,214'. On the right, the 'Stacked Bar Chart' configuration panel is visible, showing settings for the 'kibana_sample_data_logs' index pattern, the 'type' field, and the 'Average of bytes' aggregation.



ElasticsearchはElastic社が開発している
オープンソースの全文検索・分散型RESTful検索/分析
エンジンです。
超高速検索や、関連性の細かな調整、パワフルな分析が
大規模に、手軽に実行可能です。



自律走行のシステム構築

ROSで人間の操作なしにロボットを自律走行

ロボットが地図を作成
経路を計画し、移動する



自律走行を支える技術・ツール



Raspberry Pi はRaspberry Pi 財団の登録商標または商標です。
ROS はOpen Source Robotics Foundation, Inc. によるオープンソースのプロジェクトです。
その他、記載されている製品名などの固有名詞は、一般に各社の登録商標または商標です。